

# 特 記 仕 様 書

## 1 総 則

- 1-1 本仕様書は、旭川市が発注する業務委託に適用するものとし、北星地区ほか道路区画線標示業務委託 に適用する。
- 1-2 業務の履行に当たっては、本仕様書及び「公示用設計図書」に基づき実施するものとする。
- 1-3 この公示用設計図書のうち設計書(設計内訳書)に記載されている数量は、ロス分や割り増し等は含まないものである。
- 1-4 本仕様書及び公示用設計図書に記載されていない事項については、旭川市業務委託標準仕様書23-04-14(以下「標準仕様書」という。)によるものとする。なお、標準仕様書は旭川市土木部土木事業所のホームページに収録されているので、確認すること。
- 1-5 この公示用設計図書のうち設計書(設計内訳書)に記載されている数量等は参考資料であって、特記仕様書及び設計図が優先する。内容のいかんにかかわらず、参考資料は契約上何らの拘束力を有するものではない。
- 1-6 本仕様書において選択項目となっている場合は、□にレ点を記した箇所が本業務委託に該当するものである。
- 1-7 建設業退職金共済  
建設業退職金共済制度に関する資料を標準仕様書の規定に基づき提出すること。
- 1-8 業務委託成果品  
本業務委託の成果品提出は電子納品とし、標準仕様書及び別紙成果品一覧表(様式 共-25)によるほか、次のとおり成果品を提出すること。  
(1) 電子媒体収納ファイルには、ファイル説明書(様式 共-11)を添付するものとし、ファイル説明書は次の手順で処理すること。  
ア 受託者は、業務計画書と同時にファイル説明書を提出する。  
イ 委託者は、受託者から受理した書類の日付を記入し決裁をする。  
ウ 委託者は、完(修)了の際に受託者に返還する。  
(2) CD-Rに収納するデータは、必ずしも委託者又は受託者の決裁をしたものでなくてよい。  
(3) 業務履行協議簿は、メール提出することができる。ただし、メールの場合は、担当職員への電話連絡も行うこと。
- 1-9 作業に当たっては、事前に道路状況等を調査し、作業の支障となる物件や施設の破損等がある場合は、担当職員と協議すること。また、人や車の出入り等に関して地先との調整を行うこと。
- 1-10 本仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合は、委託者及び受託者双方で協議の上、決定する。

## 2 履行条件

### ☒ 2-1 概数について

概数として扱う数量一覧表に示した数量は概数であり、必要に応じて設計変更するものとする。また、設計に対して過大な出来形数量に変更するものではないことに留意すること。設計変更の詳細は、「4 設計変更」によるものとする。

### ☒ 2-2 安全対策

当該業務委託は、必要に応じて、☒ 幅員減少、☒ 片側通行止め、☐ 全面通行止め の交通規制を行うものとする。

### ☒ 2-3 交通誘導警備員について

- (1) 交通誘導警備員の配置については、標準仕様書の規定を遵守すること。また、関係書類を速やかに提出すること。
- (2) 交通誘導警備員の員数は、交通誘導を要すると想定される主な業務の標準作業日数を用いている。
- (3) 当初算出した員数は概数数量であり、担当職員と協議の上、設計変更の対象とする。

### ☒ 2-4 履行期間

本業務委託の履行期間は、着手の日 から 令和6年9月30日 までとする。

### ☒ 2-5 建設副産物・廃棄物処理

- (1) 本業務委託の建設副産物・廃棄物の種類及び数量は、別表「建設副産物・廃棄物処理一覧表」のとおりとする。
- (2) 廃棄物の適正処理に必要な情報について、別表「建設副産物・廃棄物処理一覧表」のとおり提供する。ただし、別表の情報では情報提供が不十分な場合は、担当職員と協議すること。また、性状の変化及び混合等による変化は原則ないものとする。  
委託契約期間中、適正な処理及び事故防止並びに処理費用等の観点から、委託する産業廃棄物の性状等の変更があった場合は、受託者に対し速やかに書面をもってその変更の内容及び程度の情報を通知する。なお、受託者の業務及び処理方法に支障を生ずるおそれのある場合の、性状等の変動幅は、製造工程又は産業廃棄物の発生工程の変更による性状の変更や腐敗等の変化、混入物の発生等の場合であり、委託者は受託者と通知する変動幅の範囲について、あらかじめ協議の上、定めることとする。
- (3) 契約解除した場合の処理されない産業廃棄物の取扱い  
委託者又は受託者から契約を解除した場合に、この契約に基づいて受託者から引き渡しを受けた産業廃棄物の処理が未だに完了していないものがあるときは、受託者又は委託者は次の処置を講じなければならない。
  - ア 受託者の義務違反により委託者が解除した場合
  - (ア) 受託者は解除された後も、その産業廃棄物に対する本契約に基づく受託者の業務を遂行する責任は免れないことを承知し、その残っている産業廃棄物についての処分の業務を自ら実行するか、受託者の承諾を得た上で、許可を有する別の業者に自己の費用をもって行わせなければならない。
  - (イ) 受託者が他の業者に委託する場合に、その業者に対する報酬を支払う資金がないときは、受託者はその旨を委託者に通知し、資金のないことを明確にしなければならない。その場合、委託者は当該業者に対し、差し当たり委託者の費用負担をもって、受託者のもとにある未処理の産業廃棄物の処分を行わせるものとし、その負担した費用を受託者に対して償還を請求することができる。
  - イ 委託者の義務違反により受託者が解除した場合  
受託者は委託者に対し、委託者の義務違反による損害の賠償を請求するとともに、受託者のもとにある未処理の産業廃棄物を、委託者の費用をもって当該産業廃棄物を引き取ることを要求し、又は受託者自ら委託者方に運搬した上、委託者に対し当該運搬費用を請求することができる。

- (4) 業務の履行に当たり、受託者が処理できない廃棄物が発生した場合は、速やかに担当職員と協議すること。
- (5) 建設副産物・廃棄物の処理は、次の「建設副産物・廃棄物処理一覧表」によるものとする。ただし、「処分場又は運搬先」など変更となる場合がある。その場合、委託者と受託者で履行協議を交わすこと。
- なお、「処分場又は運搬先」の欄に任意と記載されている箇所は、「土木工事用特記仕様書(旭川市土木部土木建設課) 2 施工条件(共通) (5) 建設副産物・廃棄物関係」を参考とすること。

**建設副産物・廃棄物処理一覧表**

業務内容	廃棄物の種類	分類	排出事業者	収集・運搬	処分場又は運搬先	予定数量	運搬距離	性状	荷 姿
区画線消去	アス殻(削り取りにより発生)	産廃	受託者	受託者	任意	0.01 t	9 km	固形状	バラ積み

※数量計算書より

### 3 委託料の支払方法

2回後払いとし、完(修)了時期は次表のとおりとする。また、支払い割合は1回目は出来高による額とし、2回目については残額とする。

	完(修)了時期
1回目	令和 6 年 7 月末
2回目	令和 6 年 9 月末

### 4 設計変更

- 4-1** 本業務委託における業務及び業務の数量は、概数により積算されているため、業務ごとの設計額に達することが見込まれたとき若しくは達したとき又は数量が確定したときは、金額及び数量の変更を行うことができる。
- 4-2** 一部又は全ての業務において数量が確定したときに、概数の確定による設計変更を行うものとする。

### 5 業務内容

- 5-1** 本業務委託は、「標準仕様書 第Ⅱ編 維持管理編 第6章 区画線業務」の規定に基づき実施するものとする。
- 5-2** 本業務委託は、7月末時点での履行数量は50%を超えること。また、それによりがたい場合は担当職員と協議すること。